

「鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」重要業績評価指標(KPI)平成27年度実績値一覧

[参考資料1]

1 地域にしごとを増やし、安心して働けるようにする

(1) 活力にあふれた強い地域経済を実現するための取組

数値目標	基準値	重要業績評価指標(KPI)	平成27年度実績値	説明欄	担当課
新規立地企業件数	—	平成27年度 2件	3件	首都圏及び他地域への企業訪問や調査活動を行い、本市への設備投資の可能性を有する企業についての情報収集を実施し、本市の取組を積極的にPRした。	商工課
新規立地企業による雇用人数	—	平成27年度 32人	—	年度末に立地したため、未操業。	商工課
イノベーション型ベンチャー企業の立地件数	1件	平成27年度 3件	1件	ベンチャー企業が1社が市先端研究産業支援センターに入居(前年度に登記のため0カウント)、ベンチャー企業1社が起業家育成施設に入居した。現在5社。	政策企画課
シルク販売催事日数	130日	平成27年度 150日	102日	効率性を勘案し、会場を絞って催事を実施したため日数は目標を下回ったが、売上は目標を達成した。	商工課
シルク販売年間売上	26,000千円	平成27年度 30,000千円	30,608千円	鶴岡シルクのブランド力の向上と売り上げの増加が図られた。	商工課
市創業支援事業計画 新規創業者数	32件	平成27年度 40件	34件	起業家の創出や地域内企業の経営力の強化による地域産業の振興と雇用の創出に一定の効果が認められた。	商工課
人材養成講座の年間参加事業所数	64事業所	平成31年度 80事業所	67事業所	庄内地域産業振興センターの行う産業人材育成事業(階層別研修、職能別研修、ビジネス・スキル向上講座、経営・マネジメント講座等)を支援した。	商工課
「つるおか食の総合計画」ワークショップ参加人数	—	平成27年度 60人	のべ180人	市民参画による市食文化の高度ブランド化戦略の策定が図られた。	政策企画課
中心商店街の空店舗を活用した新規出店件数	—	平成31年度 3件/年	1件/年	鶴岡TMOIによる商店街情報の発信や魅力向上への取り組み、若手経営者等による商店街活性化策の検討を行った。	商工課
企業間連携等による新製品・新サービス開発を行う新規事例	—	平成31年度 5件	2件	市の中小企業ものづくり振興事業補助金による支援のほか、庄内産業振興センターを中心とした食産業関連の研究会への参加など各種支援制度の活用の働きかけを行った。	商工課
新築住宅における地元工務店の受注割合	51%	平成31年度 60%	61%	つるおか住宅活性化ネットワークによるつるおか住宅の建設促進に向けた若者住宅支援事業の実施や、過去の住宅建築例を記載したパンフレットを配布し、地域住宅の活性化を図った。	建築課
公募で選定され創業に至る事例数	—	平成31年度 4件/年	—	次年度実施に向けて関連・類似事業についての情報収集を行い、計画を策定した。	商工課
地元企業と生産者との異業種連携件数	—	平成31年度 5件/年	—		農政課

「鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」重要業績評価指標 (KPI) 平成27年度実績値一覧

[参考資料1]

(2) 観光振興のための地域の連携態勢の強化

数値目標	基準値	重要業績評価指標 (KPI)		平成27年度 実績値	説明欄	担当課
外国人延べ宿泊者数	4,000人/年	平成31年度	4万人/年	5,000人/年	鶴岡市国際観光推進行動計画を策定し、ミラノ国際博覧会への出展や英語版ホームページの開設等に取り組んだ。	観光物産課
海外向けホームページアクセス件数	—	平成31年度	10万件/年	250件/年	英語版ホームページを2月に新設し、世界に認められた食文化等をPRしている。	観光物産課
食文化ウェブサイトアクセス件数	11万5千件/年	平成27年度	12万件/年	17万8千件/年	サイト内に新たなページを設けるなどその充実を図ったことがアクセス件数の増加につながった。	観光物産課
観光連盟ホームページアクセス件数	20万件/年	平成31年度	23万件/年	18万4千件/年	ホームページのリニューアルが年度末になったことから効果の検証が出来なかったが、引き続き利用者のニーズにマッチした情報発信に努める。	観光物産課
本市観光客数(山形県調査)	700万人/年	平成31年度	750万人/年	699万人/年	山形DCのあったH26年に対し、ポストDCの取り組みにより同程度の水準を維持することができた。	観光物産課
松ヶ岡開墾記念館入場者数	3,400人/年	平成31年度	1.5万人/年	3,264人	今後も本市近代化の礎ともなった絹織り産業の文化を継承しながら、絹の新たな文化価値を創造することで持続的振興と発展を図る。	政策企画課

(3) 農林水産業の成長産業化の推進

数値目標	基準値	重要業績評価指標 (KPI)		平成27年度 実績値	説明欄	担当課
グリーンツーリズム関連施設利用者数	168万人	平成31年度	175万人	182万人	グリーン・ツーリズム推進協議会(※)を中心に研修会等を通して実践者の育成支援など、受け入れ体制の整備拡充とネットワークづくりを進めてきた。 ※平成27年度末に発展的解散	農政課
地域定住農業者育成プロジェクトによる定住農業者数	—	平成28年度	10人/年	—	H29.4に実績 (H28.4に組織設立したため) H22~26年の新卒及び新規参入就農者数42名 42/5=8.4名	農政課
新規就農者の賃貸借及び所有権移転農地件数	—	平成28年度	10件/年	21件/年	新規就農者に対し農地提供が着実に図られている	農政課
新規就農者研修受講者数	—	平成31年度	5人/年	1人/年	研修受入協議会の設立により、新規就農者の研修支援体制の充実が図られた(28.4からは6名が受講している)	農政課
Uターン就農者支援事業による就農者数 ※跡継ぎ就農者含む	H22~26平均 11人/年	平成27年度	10人/年	1人/年	親元就農も多く、補助金活用は1名の実績に留まったが、支援メニューとして就農相談や首都圏での移住フェア等で紹介ができた。	農政課
伝統農法の継承による再造林プロジェクト新規雇用者数	—	平成31年度	5人	0人	平成28年度より雇用予定	農山漁村振興課
伝統農法の継承による再造林プロジェクト森林施業受託面積	—	平成31年度	10ha	1ha	平成28年度以降、受託面積を拡大する	農山漁村振興課
漁業新規就業者育成数	H15~H25平均 6人/年	H27~H31平均	7人/年	1人/年	平成28年度独立に向け研修中1人	農山漁村振興課

2 地域への新しいひとの流れをつくる

(1) 地域への移住希望者に対する支援の強化

数値目標	基準値	重要業績評価指標(KPI)	平成27年度実績値	説明欄	担当課
移住相談件数	15件/年	平成31年度まで 60件/年	90件	移住コーディネーターの設置により相談件数が飛躍的に増加し、確実に移住者増につながっている。	地域振興課
スモールビジネス研修会への参加人数	—	平成27年度 延べ140人	299人	複合起業等に対する理解を深めると共に、その裾野を広げながら新たなビジネスモデルを生み出す機会を創出できた。	地域振興課
アカデミックインターンシップ参加人数	—	平成27年度 300人	400人		政策企画課
移住者への住宅支援件数	—	平成31年度まで 延べ50件	延べ14件	住宅リフォーム支援事業について、移住者に対する助成金の割り増し事業をおこなうことで、住宅支援を行うことができた。	建築課
若者子育て世帯への住宅支援件数	25件	平成31年度まで 延べ300件	60件	持続可能な地元住宅関連産業の振興に向けた活動を行うことができた	建築課

(2) 企業等の地方拠点強化策を活用した誘致活動の推進

数値目標	基準値	重要業績評価指標(KPI)	平成27年度実績値	説明欄	担当課
国関係研究機関等の本市移転件数	—	平成31年度 1件	—		政策企画課
市外に本店を置く法人が市内に事務所等を開設する件数	36件/年	平成31年度 42件/年	47件/年	平成28年度以降実施の「鶴岡市拠点拡充促進事業」制度設計に係る調査及び調整等を実施した。	商工課
上記に伴い新たに雇用される人数	—	平成31年度 9人/年	—		商工課

(3)地域高等教育・研究機関の一層の活性化の推進

数値目標	基準値	重要業績評価指標(KPI)	平成27年度実績値	説明欄	担当課	
新規高卒就職者の県内就職率	72.20%	平成27年度	80.0%	74.80%	高校生及び高校関係者等の地元就職に関する意識の向上や地元企業の採用増がある一方、県外大手企業等の求人意欲も高く県外就職への一定の割合は維持される見込み。	商工課
本市施設活用学習への参加学校数	13校	平成31年度	18校	加茂水族館 25校 致道博物館 29校	入館料の助成とスクールバスの提供を行ったことにより、多くの学校が利用し、ふるさと鶴岡を愛する子ども育成事業を推進することができた。	学校教育課
小学校におけるスキー学習実施校	15校	平成31年度	20校	20校	これまでスキー学習を実施していなかった学校の児童がスキーの楽しさに触れる貴重な機会となり、今年度さらに広がりを見せている。	学校教育課
子どもたちが地域で学ぶ、体験する事業の増加数	2件	平成31年度まで	15件	—	住民自治組織ステップアップ事業補助金等を活用し、子どもたちが地域で学ぶ、体験する機会を創出することにより、地域の教育力が高まり、子どもたちの郷土愛の醸成を図る。	コミュニティ推進課
広域コミュニティ組織による青少年を対象とする新規事業件数	—	平成31年度まで	15件	4件	学校統合により、これまで小学校を核に学校と地域が連携して行っていた「和太鼓」の継承事業を広域コミュニティ組織が引継ぎ実施することにより、郷土学習の継続が図られた。また、地域での奉仕活動や地域資源を活用した事業の実施により青少年の地域への愛着の醸成を図ることができた。	コミュニティ推進課
鶴岡市山形ふるさと塾形成事業に係る活動を支援する団体数	1団体	平成31年度まで	5団体以上	2団体	三瀬地区歴史めぐり実行委員会、朝日大泉・大島地域伝統食をつなぐ会の2団体。世代間交流を図りながら子どもたちが「地域の歴史」や「伝統食」等の伝統文化の継承者としての意識を醸成することができた。	社会教育課
英語教育研究開発校の選定数	—	平成27年度	小学校4校 中学校1校 高等学校2校	小学校4校 中学校1校 高等学校2校	小学3年生から高校3年生までの10年間を見通した指導計画を作成し、各校種連携して英語学習を行う体制が整い、各校で実践を重ねている。	学校教育課

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(1)地域の実態に即した少子化対策の推進

数値目標	基準値	重要業績評価指標(KPI)	平成27年度実績値	説明欄	担当課	
小規模保育所	—	平成31年度	5か所 定員計50人	0か所	平成28年4月開所 2か所	子育て推進課
事業所内保育所	—	平成31年度	2か所 定員計30人	0か所	平成28年4月開所 1か所	子育て推進課
「山形いきいき子育て応援企業」市内の認定企業数	11社	平成31年度	50社	15社		政策企画課

(2) 結婚・妊娠・出産・子育て支援

数値目標	基準値	重要業績評価指標 (KPI)	平成27年度実績値	説明欄	担当課
年間出生数	877人/年	平成31年度 806人/年	889人	※指標の変更: 人口に関する評価においては人口動態統計のデータを使用する機会が多いが、人口動態統計では発表が2年間ほど遅れてしまうため、事業評価を実施しやすいよう、市民課で把握している出生数を使用することに変更する。	健康課
出生数減少率	(H21~H26) 13%	H27~H31 (5%抑制効果: 43人)			
先輩ママによるサポート件数	67件	平成27年度 100件	99件	希望する子育て家庭に先輩ママが訪問し、育児のアドバイスを行うことで、子育ての悩みや孤独感を軽減することができた。	子ども家庭支援センター
若者子育て世帯への住宅支援件数(再掲)	25件	平成31年度までのべ300件	13件	持続可能な地元住宅関連産業の振興に向けた活動を行うことができた	建築課
つるおか婚シェルジュによる成婚数	—	平成31年度まで 5組/年	1組	つるおか婚シェルジュの世話焼きにより、登録者に寄り添ったお相手紹介を実施することができた。 登録者数: 200名 お見合い件数: 100回 交際中カップル: 14組 成婚カップル1組 ※平成27年度実績	地域振興課
一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の設置数	—	平成31年度まで 4か所整備	0か所	学区において、検討会の立ち上げや保護者アンケートの実施など、引き続き関係者との協議、検討を進める。	子育て推進課 社会教育課
つるおか森の保育研究会構成数	19団体・個人	平成31年度 24団体・個人	21団体・個人	本市の四季折々の豊かな自然環境に親しみながら、豊かな感性や健康な心と身体を養う森の保育事業を実施する。	子育て推進課
森の保育フォーラム参加者数	135人/年	平成31年度 150人/年	186人/年	先進的な取組みをしている森の保育実践者の講演や当研究会の活動報告などを学習の場・情報交換の場を提供する。	子育て推進課

4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る

(1) コンパクトシティの形成

数値目標	基準値	重要業績評価指標 (KPI)	平成27年度実績値	説明欄	担当課
リノベーション対象として事業化を検討する物件数	—	平成27年度 1件	2件	リノベーション手法による遊休不動産の利活用について、事業を担う人材育成も進めながら、引き続き検討を進める。	建築課
まちづくりの視察者・来訪者数	120人/年	平成31年度 240人/年	34人/年		都市計画課
空き家相談件数	158件	平成31年度 126件	148件	事業成果を測る指標としてなじまない。	建築課
空き家バンク登録件数	57件	平成31年度 100件	48件	空き家を活用するために所有者等が具体的に取組みきっかけとなった。	建築課
中心市街地来訪者数	304人/日	平成31年度 (+50%) 450人/日	344人/日	銀座、山王商店街を中心とした低未利用地の現況等に関する基礎調査を実施し、将来に向けて住みよい街をつくるための活用構想を策定した。	都市計画課

(2)「小さな拠点」の形成(集落生活圏の維持)

数値目標	基準値	重要業績評価指標(KPI)	平成27年度実績値	説明欄	担当課
地域ビジョン策定件数	—	平成31年度まで 5件	0件	平成28年3月に「鶴岡市コミュニティ推進計画」を策定。平成28年度から住民自治組織ステップアップ事業補助金にビジョン策定枠を設け、今後地域に入り地域ながら策定を目指す。	コミュニティ推進課
生涯学習講座等の開催数	(近年の平均) 20.9回	平成31年度 22回/年	15.7回/年	広域自治組織へ地域づくり交付金を交付することにより、地域づくりに繋がる多種多様な生涯学習講座が実施されている。また、生涯学習推進員を配置し、住民ニーズに添った各種講座の企画・運営等に関わることにより、生涯学習の推進が図られた。	コミュニティ推進課
「小さな拠点」の検討体制数	—	平成28年度～ 1件/年	0件	朝日地域の大網地区をモデル地域として、平成28年度からの事業本格化をにらみ、検討体制の構築に向けた地域代表者との意見交換を行った。	地域振興課
「小さな拠点」の形成数	—	平成31年度 2件	0件		地域振興課
コミュニティビジネスの実践件数	—	平成31年度 3件	0件	住民自治組織を対象とした研修会等で、地域の資源や人材を活かしたコミュニティビジネスを、地域課題解決の手法の一つとして検討し、取り組むきっかけづくりとなるよう周知推進した。	コミュニティ推進課
集落ビジョン策定件数	—	平成31年度まで 2件	0件		地域振興課
中山間地域等直接支払の交付対象面積	1,600ha	平成31年度 維持	1616.6ha		農山漁村振興課
多面的機能支払との重複交付対象面積	816ha	平成31年度 維持	816ha		農山漁村振興課

(3)地域医療提供態勢の整備等

数値目標	基準値	重要業績評価指標(KPI)	平成27年度実績値	説明欄	担当課
医師の増員数	—	平成31年度 5人	±0人	首都圏の複数の大学へも医師派遣の協力を依頼し、27年12月から眼科医師を月2回(1回:1泊2日)程度派遣いただくことができた。複数の医師求人紹介事業者と連携し、求人募集活動を展開した結果、27年4月に1名の医師を採用することができた。	荘内病院

(4)安全安心なくらしづくり

数値目標	基準値	重要業績評価指標(KPI)	平成27年度実績値	説明欄	担当課
広域コミュニティ組織の機能強化に向けた取組件数	—	平成27年度 3件/年	7件/年	広域コミュニティ組織の機能の見直しに向けて、住民自治組織代表者の研修会の開催や、コミュニティ支援員や地区担当職員が地域に入り新たなコミュニティネットワーク構築に向けた取組ができた。	コミュニティ推進課

(5)ふるさとづくり

数値目標	基準値	重要業績評価指標(KPI)	平成27年度実績値	説明欄	担当課
鶴岡まちづくり塾メンバー加入者数累計	160人	平成27年度 200人	193人	全体会やリーダー会を通して旧市町村ごとの各グループの活動状況の情報共有が図られ、触発し合いながら、各グループの独自性のある活動展開に繋げることができた。	政策企画課